

# ウメガサソウ

*Chimaphila japonica*

イチヤクソウ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし

種  
子  
植  
物



低地から低山地の林内や林縁に生える小さな低木状の常緑多年草。高さ5～10cm。葉は2～4個、鱗状の葉と交互に輪生状につき、革質で少し光沢がある。花期は6～7月、茎頂の長い柄の先に、1（まれに2）個、1cm内外の花を點頭する。小さくて、主として林縁に生えるため、生育地の植生遷移による環境変化の影響を受けやすい。また、人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

（写真：竹尾良造 文：荒金正憲）

**県内分布** 耶馬溪・国東丘陵地，九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，石灰岩地域，大野川上流域，祖母・傾山地

**分布域** 北海道，本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）樺太，南千島，朝鮮半島，中国，中国（東北部），ウスリー